

全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会 <特別規則>

1. 競技方法

全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会は、個人競技、シンクロ競技、団体競技の3つのカテゴリーにて実施する。各カテゴリーを以下の年齢区分に分ける。

- 小学生低学年 (1年生～3年生)
- 小学生高学年 (4年生～5年生)
- 中学生 (1年生～3年生)

(1) 個人競技

✓ 予選は、各カテゴリーについて特別要求を含む第1演技（難度点を加算しない）および第2自由演技（難度点を加算する）にて構成される。第1演技と第2自由演技の合計点を予選得点とし、予選得点の上位8名が決勝に進出する。決勝は0点スタートにて順位を決定する

(ア) 第1演技（特別要求）について

【小学生低学年】

- 第1演技は、以下①～③に示す特別要求を満たす種目を含んだ異なる10種目で構成される。特別要求種目には競技カードに（*）印を付けなければならない。
 - ① 360度以上の前方宙返り、または後方宙返りにおいて、抱え型 (Tuck)、えび型 (Pike)、伸び型 (Straight) の3つの姿勢を実施しなければならない。さらに、360度以上の宙返り種目は、前方、後方のいずれも1種目以上が含まれている必要がある（例：後方宙返りで3つの姿勢を構成することはできない）
 - ② ハーフピルエットジャンプ、またはフルピルエットジャンプのいずれかを実施しなければならない
 - ③ 腹落ちで着床する種目、または背落ちで着床する種目のいずれかを実施しなければならない
- 第1演技の難度点は算入されない
- 第1演技の要求種目を第2自由演技で実施した場合でも、難度点は算入される
- 特別要求種目は、1種目で2つ以上の要求種目を兼ねることができる
- 申請した演技構成と実施した演技構成が異なった場合、中断となる。申請した通りに演技を実施して中断した場合は、実施した有効種目までを有効得点とする

【小学生高学年・中学生】

- ・ 第1演技は、以下①～③に示す特別要求を満たす種目を含んだ異なる10種目で構成される。特別要求種目には競技カードに（*）印を付けなければならない。
 - ① 360度以上の前方宙返り、または後方宙返りにおいて、抱え型（Tuck）、えび型（Pike）、伸び型（Straight）の3つの姿勢を実施しなければならない。さらに、360度以上の宙返り種目は、前方、後方のいずれも1種目以上が含まれている必要がある（例：後方宙返りで3つの姿勢を構成することはできない）
 - ② ハーフピルエットジャンプ、およびフルピルエットジャンプのいずれも実施しなければならない
 - ③ 腹落ちで着床する種目、および背落ちで着床する種目のいずれも実施しなければならない
- ・ 第1演技の難度点は算入されない
- ・ 第1演技の要求種目を第2自由演技で実施した場合でも、難度点は算入される
- ・ 特別要求種目は、1種目で2つ以上の要求種目を兼ねることができる
- ・ 申請した演技構成と実施した演技構成が異なった場合、中断となる。申請した通りに演技を実施して中断した場合は、実施した有効種目までを有効得点とする

(イ) 第2自由演技および決勝の自由演技について

① 各カテゴリーの1種目あたりの難度上限

カテゴリー	難度制限
小学生低学年	1.4
小学生高学年	1.6
中学生	1.8

② 禁止技

- ✓ 小学生低学年、小学生高学年は、3回宙返りを禁止とする
- ✓ 全カテゴリーで4回宙返りの実施を禁止とする
- ✓ いずれのカテゴリーにおいても禁止技を実施した場合、1種目あたりの難度上限を超えた技を実施した場合は失格とする

③ 難度のないフィートバウンス

使用回数の制限はしない。

(2) シンクロナイズド競技

- ✓ 予選は1回の自由演技を実施し、予選得点の上位8名が決勝に進出する。決勝は0点スタートにて順位を決定する
- ✓ 年齢区分の異なる選手とペアを組む場合は、そのペアにおいて年齢上位の選手の категорияに出場する
- ✓ シンクロナイズド競技のみのエントリーは不可とする

(3) 団体競技

- ✓ 各カテゴリー男女別に1チーム最高4名(最低3名)で構成し、個人競技の予選得点にて順位を決定する

2. タイ・ブレイク

【個人競技】

予選：WAGC規則のタイ・ブレイクルールに従って行う

- ① 2本の演技のT得点の合計が高い方
- ② 2本の演技のH得点の合計が高い方
- ③ 2本の演技のD得点の合計が高い方
- ④ 2本の演技の全E得点の合計が高い方

決勝：シニアルールのタイ・ブレイク規則に従って行う

- ① 決勝の自由演技のT得点が高い選手
- ② 決勝の自由演技のH得点が高い選手
- ③ 決勝の自由演技のD得点が高い選手
- ④ 決勝の自由演技の全てのE得点の合計が高い選手

【シンクロナイズド競技】

予選・決勝：シニアルールのシンクロのタイ・ブレイク規則に従って行う

- ① 予選、あるいは決勝のそれぞれの自由演技におけるS得点が高いペア
- ② 予選、あるいは決勝のそれぞれの自由演技におけるH得点が高いペア
- ③ 予選、あるいは決勝のそれぞれの自由演技におけるD得点が高いペア
- ④ 予選、あるいは決勝のそれぞれの自由演技におけるE得点の合計が高いペア

【団体競技】

タイ・ブレイク規則(トランポリン/団体)に従って行う

- ① 採用する演技のうち、上位3つのT得点の合計が高い団体
- ② 採用する演技のうち、上位3つのH得点の合計が高い団体
- ③ 採用する演技のうち、上位3つのD得点の合計が高い団体
- ④ 採用する演技のうち、上位3つのE得点の合計が高い団体

※上記の基準を適用してもなお同点の場合は、タイ・ブレイクは行わない